

山下桂世子の

ジョリーフォニックス 総合トレーニング

2018
10月

東京 日本橋

10/27 (土) & 28 (日)

英語の読み書きの基礎の指導は『フォニックス』で。その中でも『シンセティック・フォニックス』はイギリスをはじめ世界各国で 21 世紀から指導され始めた非英語話者にも効果の上がる新しいタイプのフォニックスです。その草分け的な教材群で非常に高い学習効果(*)を誇る『ジョリーフォニックス』を基礎の基礎から実際の指導方法まで総合的に学びましょう。

(*) Clackmannanshire Case Study

英語の読み書きの基礎『フォニックス』は

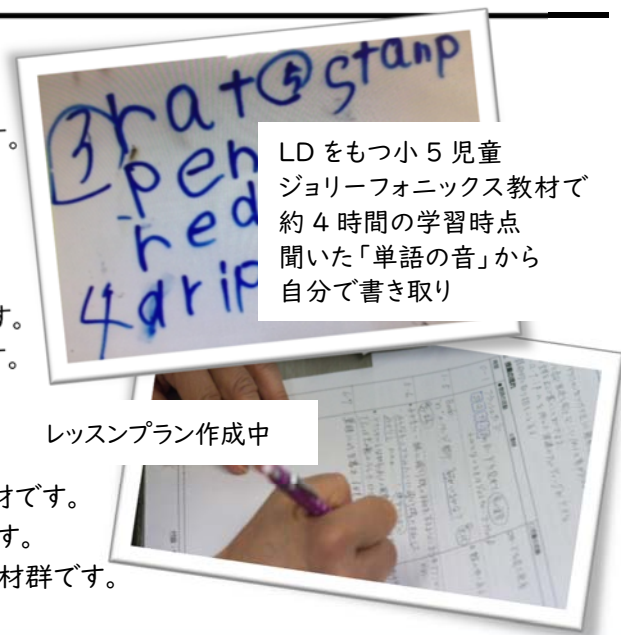
- ✓ 「英語の音」や「英単語の読み方」のことではありません。
- ✓ 英語の読み書き指導の**一番初めの段階で身に付けたい**技能です。
- ✓ 教える側がしっかりと理解できていることが大切です。

新しいフォニックス『シンセティック・フォニックス』では

- ✓ **習い始めてすぐに**読み書きを学習し始めます。
- ✓ **聞いた英語の音を書き、書かれた単語をきれいな発音で**読めます。
- ✓ 外国語として英語を学ぶ子どもにも**高い習効果学**が確認できます。
- ✓ 教える側にネイティブの発音スキルがなくても問題ありません。

さまざまな国で使用されている教材『ジョリーフォニックス』は

- ✓ **誰でも日本語で**教え・学ぶことができる、**体系的**に構成された教材です。
- ✓ **子どもの視点**を主体とした指導法で、**多感覚**で身に付けていきます。
- ✓ **学習障害をもつ子どもを含むさまざまな子ども**に使ってほしい教材群です。



LDをもつ小5児童
ジョリーフォニックス教材で
約4時間の学習時点
聞いた「単語の音」から
自分で書き取り

レッスンプラン作成中

山下桂世子

ジョリーフォニックス&ジョリーグラマートレーナー
<http://kayokoyamashita.com>

日本で小学校の教員(通常学級と特別支援学級)、イギリスのブリスカールでの勤務経験を経て、少数民族サポート機関EMASSへ。現在はイギリスの現地小学校でLanguage Teaching Assistant 兼特別支援チームのリーダーとして勤務中。

一方、現地 ACE(市の成人学級)では日本語講師として活躍。

また Nottingham 大学で特別支援教育修士号を取得後、トラウマについて学ぶ一方、Jolly Phonics /Jolly Grammar トレーナーとして 2013 年から活動を開始。ジョリーフォニックスの指導経験はその時点で十年を超え、今もイギリス・日本・Skype で大人にも子どもたちにも指導とサポートを精力的に行っています。

「はじめてのジョリーフォニックス - ティーチャーズブック -」「はじめてのジョリーフォニックス - スチューデントブック -」監修。「ワーキングメモリと英語入門」編著。



推奨

当トレーニングは以下をはじめ、多くの方々から
ご推奨いただいています!(氏名の五十音順・敬称略)

Jolly Learning Ltd. 取締役社長 Chris Jolly

株式会社アニメーション 代表取締役 太田真樹子

新潟ディスレクシアの会 代表

特定非営利活動法人 EDGE 会長 藤堂榮子

御菓子司 中末堂 中元靖大

on Dyslexia 主催 成田あゆみ

日本経営教育研究所 代表取締役社長 八田哲夫

JUN International Preschool 主宰 臨床発達心理士 榛谷都

有限会社 ソムニウム 代表取締役 丸山敦子

道村式漢字カード 道村静江

神戸山手短期大学 准教授 村上加代子

西大和学園中学校 講師 諸木宏子

2018年10月トレーニング詳細



お子さんをお持ちのお父さん・お母さん、英語に苦手意識をお持ちの学生や社会人、英語を教えてみたい人、すでに英語を指導している先生、日本人相手に英語を教えてみたい英語話者の先生、日本人相手の英語教育に携わっている英語の専門家、本当の初心者からバリバリのプロまで、だれもが知っておきたい「フォニックス」「シンセティック・フォニックス」「ジョリーフォニックス」を一から学ぶ指導者向けトレーニングを開催します。

内容 Part 1, 2, 3 の三部でワンセットの指導者向けトレーニングです

- **Part 1** ◆日本語と英語の『音』の認識の違い、国語と英語の教え方の共通点
 ◆英語の文字(綴り)と音の関係を身につける『フォニックス』とは
 ◆これまでの英語の『読み書き指導』方法の変遷、それらそれぞれの特徴や長所・短所など
 ◆21世紀の新しい指導法『シンセティック・フォニックス』とは
 ◆教材『ジョリーフォニックス』を使った基本の『42の文字(綴り)の音』の日本人向け指導方法
 どなたでも!
- **Part 2** ◆基本の42の音の次に学ぶ『同音異綴り』と、その指導法・学習法
 ◆『ひっかけ単語』と、その教授法・学習法~すべてがひっかけになっているわけじゃない!
 ◆Decodable Books フォニックスで読める本
 Part 1 受講後に!
- **Part 3** ◆できる子からできない子まで有効な『多感覚』『child-centred』『systematic』の意味を考える
 ◆実践!授業案の作成~グループ内デモレッスン~フィードバック
 ◆特別な支援が必要な子どもたちにも効果があがる指導について、事例や教具をみながら考えよう
 ◆読み書きが困難な状態を体験しよう!その体験を通じて、子どもたちへの支援について考える
 Part 1&2 受講後に!

※当トレーニングは日本語で行われます。お申込みやお渡しするハンドアウトなどもすべて日本語となりますので、ご了承ください。

※上記内容は2018年9月時点のものです。Part 1, 2, 3の内容や構成は追加、変更、入れ替えになる場合があります。

日程など 開催日程と受講費用はこちら (キャンセルポリシーなどの詳細は別途「サービス利用規約」をご参照ください)

	トレーニング時間 (受付開始)	定価	レポート受講価格	Part 1&2&3 セット価格
Part 1	10/27 (土) 9:30-17:45 (9:15)	20,000 円	Part 1,2,3 の内	一般 30,000 円
Part 2	10/28 (日) 9:15-13:15 (9:00)	10,000 円	1つで 6,000 円	公立小中学校関係者 20,000 円
Part 3	10/28 (日) 14:00-17:45 (13:45)	10,000 円	2つで 8,000 円	U25 (25歳以下) 10,000 円
			3つで 10,000 円	
教材:	はじめてのジョリーフォニックス -ティーチャーズブック-	3,780 円	トレーニングで使用する教材です。お申し込み時にお一人さま各1冊ずつまで同時購入いただけます。お渡しは会場で!	
	はじめてのジョリーフォニックス -スチューデントブック-	1,080 円		

- *1) 初受講の方は Part 1, 2, 3 のセットでお申し込みください。(なにか特別な事情がある場合にはお申し込みの際にご相談ください。)
- *2) Part 1, 2, 3 セット価格は2018年10月開催の上記 Part 1, 2, 3 に連続して受講される場合にのみ適用されます。公立小中学校現役教諭(講師/ALT/JTEは対象外)、教育委員会の方、レポート受講者、25歳以下の方(いずれもトレーニング受講時点の在籍・出席・年齢で判断)のセット価格はさらにお得になっています。お申し込み画面で必要項目をご記入してお申し込みください。後ほどサポート担当者より確認が入ることがありますのでご協力いただけますようお願いいたします。
- *3) リポート受講は2016年以降の山下桂世子のジョリーフォニックス総合トレーニング受講済みセッションへの再受講分が対象となります。
- *4) 当トレーニングお申し込み~受講に関する詳細は2018年10月版の「サービス利用規約」をご確認ください。

【重要】今回のトレーニングでは一般販売用 DVD の撮影が行われる可能性があります。受講者を撮影する予定はありませんが、映り込む可能性があります。撮影されては困る方は今回の受講はご遠慮いただけますようお願いいたします。
 *** DVD の内容や販売については現時点では未定です。

会場など 東京日本橋の貸し会議室で開催いたします (今回の定員は最大54名を予定しています)

CIVI 研修センター 日本橋 クアトロ室町ビル4階 N403AB http://www.civi-c.co.jp/access_t.html#nihonbashi
 〒103-0022 中央区日本橋室町 4-1-6 (JR「新日本橋」駅徒歩2分 / 東京メトロ銀座線・半蔵門線「三越前」駅徒歩2分 / JR「神田」駅徒歩3分)

その他 主催: 山下桂世子 協力: 教材販売の Jolly Study Square www.jollyss.com

- 当トレーニング詳細は山下桂世子ホームページ内イベントカレンダー <http://kayokoyamashita.com/events> (右 QRコード) から当該イベントのページでご確認ください。お申し込みや詳細はそちらのページから!
- お申込みに関するお問い合わせは、お申し込み受付関連のサポートをお願いしている社外ボランティアの Jimu 氏 (jimu@kayokoyamashita.com) までメールで! (kayokoyamashita.com のドメインからメールを受け取ることできるようメールアドレスを設定ください。詳しくは「メールが来ない! <http://kayokoyamashita.com/settings>」を参照)

